



自分で選んで 自分で作って

R3.5.24 綾南幼稚園

ひまわり組の女の子がエコバッグを片手に制作の部屋へ。何を作りたいのかをイメージして材料を選びます。

集めた材料をハサミやテープを使って自分のイメージに近づけていきます。素材を実際に手に取ることでイメージが湧くこともあります。

試行錯誤しながら作った作品には、愛着が生まれます。友達に見てもらうことで自分の思いを言葉にする力も育まれていきます。

何でもないようなことですが、大切な学びがたくさん詰まっています。



優しい おさるさん

園庭のビワが食べごろを迎えています。
自慢じゃないですが、綾南幼稚園のビワは
なかなか美味しいのです。
子どもたちもすぐに気づいて、食べたがり
ます。木登り上手な子がするすると
登って上からビワを渡してくれます。
もらえた子がぼそっと「優しいおさるさん
だね」とつぶやいていました。たしかに
さるかに合戦のさるはカキを投げてくる
ものね（笑）

はさみの練習

はさみには、上達していく段階があります。持ち方を覚えるところから始まり、1回で切れるものを切る、そのあと2回、3回と連続切り、曲線切り…と様々な段階があるのです。

年少さんも、初めてののはさみに挑戦です。でも「はい、今日は1回切りの練習ですよ～」では面白くありません。今日は切った紙切れを袋に入れて、風船を作っていました。

保育者の工夫が詰まっています。



虫好き同好会

同好会を辞書で引くと「同じ趣味の人の集まり」と出ます。

そういう意味では、クラスや学年を超えて、草むらで目を皿にして虫を探すこの子達は立派な同好会です。

誰かが虫を捕まえると、一目散に全員が集まり、額を寄せ合って

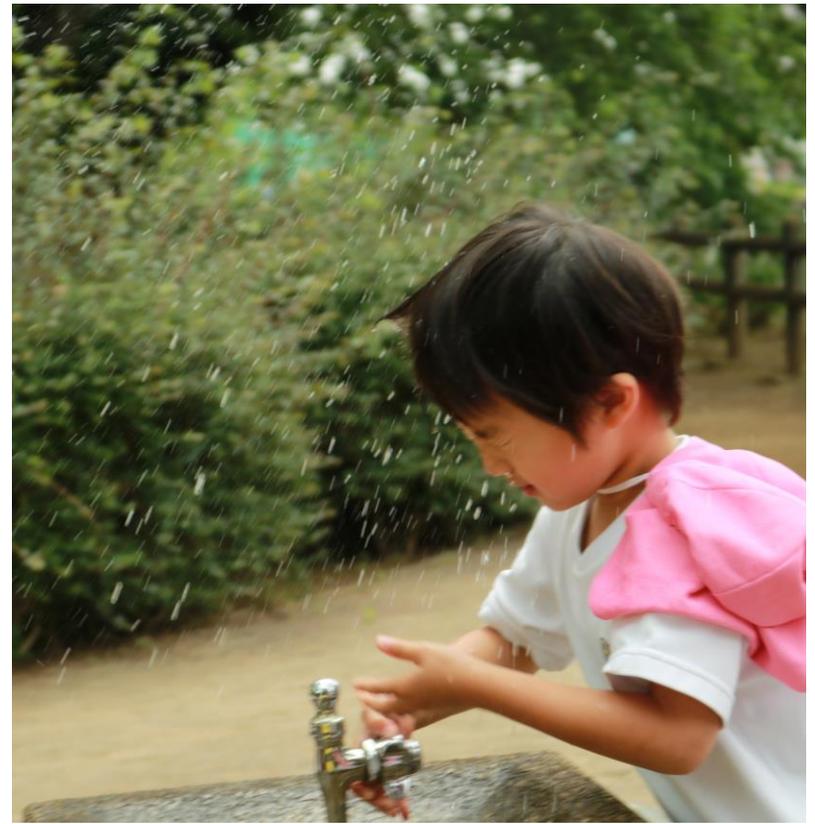
「何の虫!？」と正体を探ります。好きという気持ちで繋がれる同好会、とっても素敵です。





ぼくがちゃんと
つれてくからね

R3.5.26 綾南幼稚園
園外保育



綾南公園の水飲み場

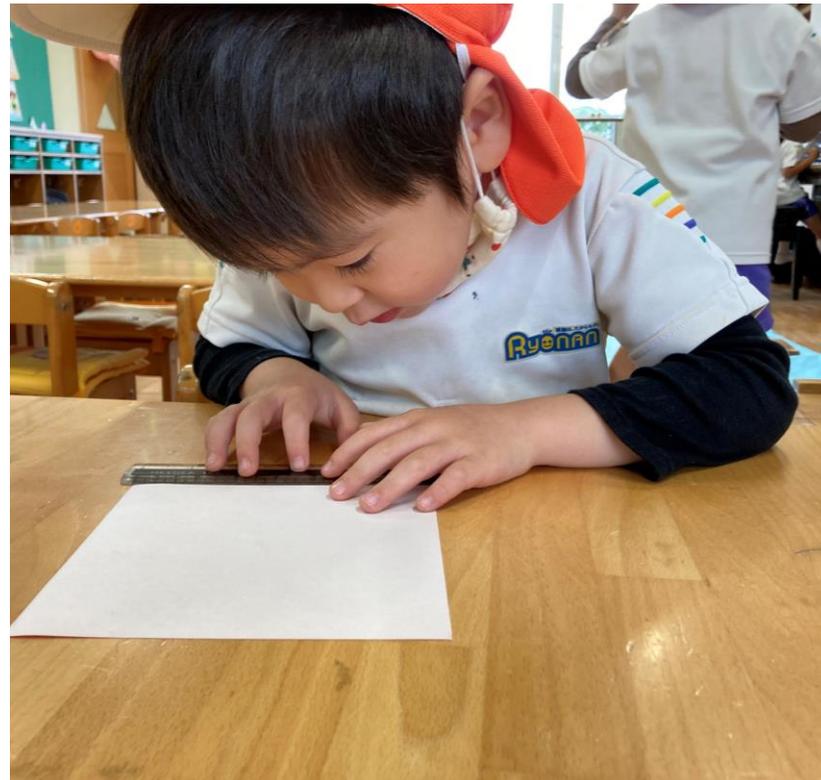
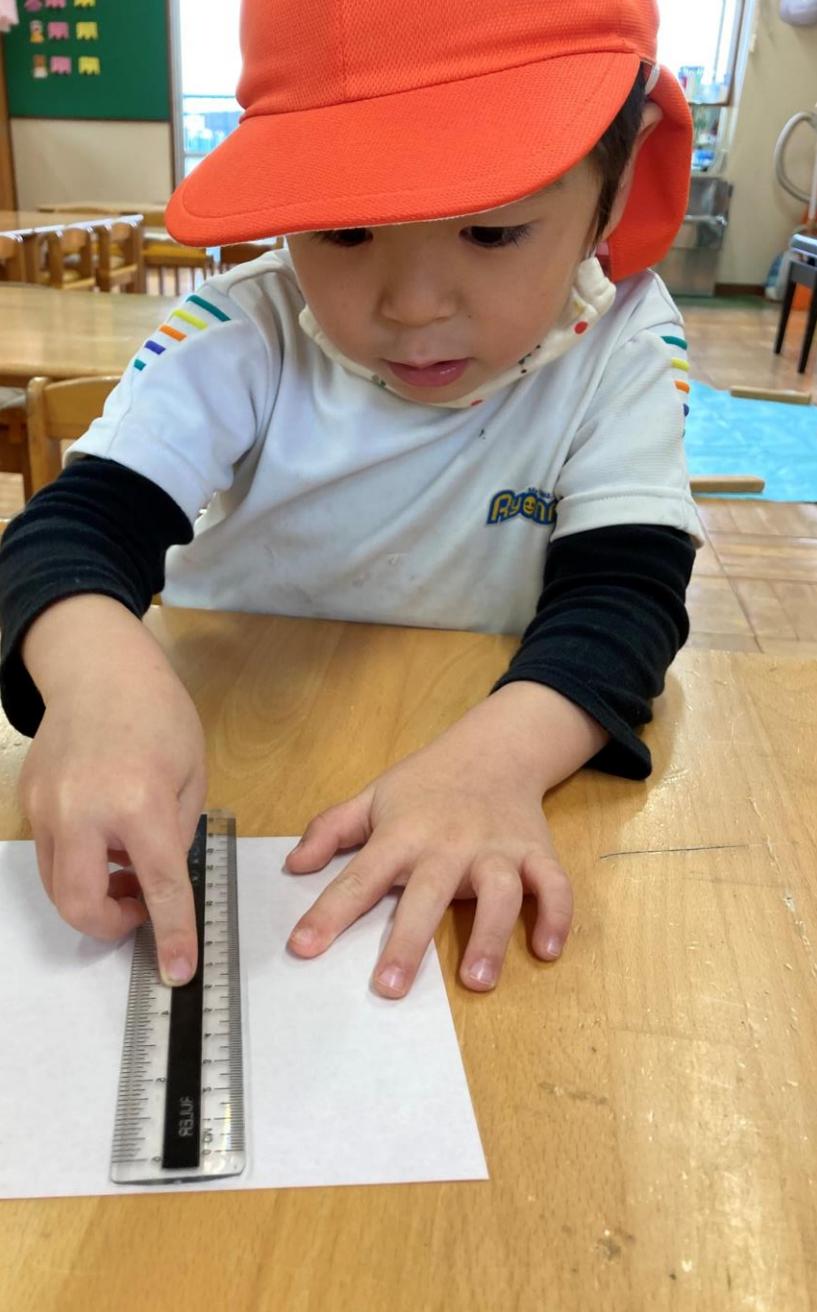
長さへの興味

ばら組の男の子が定規を使って折り紙の辺を測っています。

1つの辺が15cmと分かると、隣の辺も測ります。「あれっ、

こっちも15だ！」と驚きの声。正方形という言葉が教えられて知ると、自分で興味を持って長さを測り、同じだと分かるのでは、大きく意味が違うと思いませんか？

この後、彼は三角形の辺の長さも調べ始めていました。どんな発見が待っているかな。



A man wearing a brown hat and a tan vest over a blue and white checkered shirt is leaning over a black stroller. Inside the stroller, a small, light-brown dog is being fed from a small clear plastic container. The man is holding another similar container. A group of children, mostly wearing white shirts and blue or purple caps, are gathered around the stroller, looking at the dog. The scene is outdoors on a paved path with grass and trees in the background.

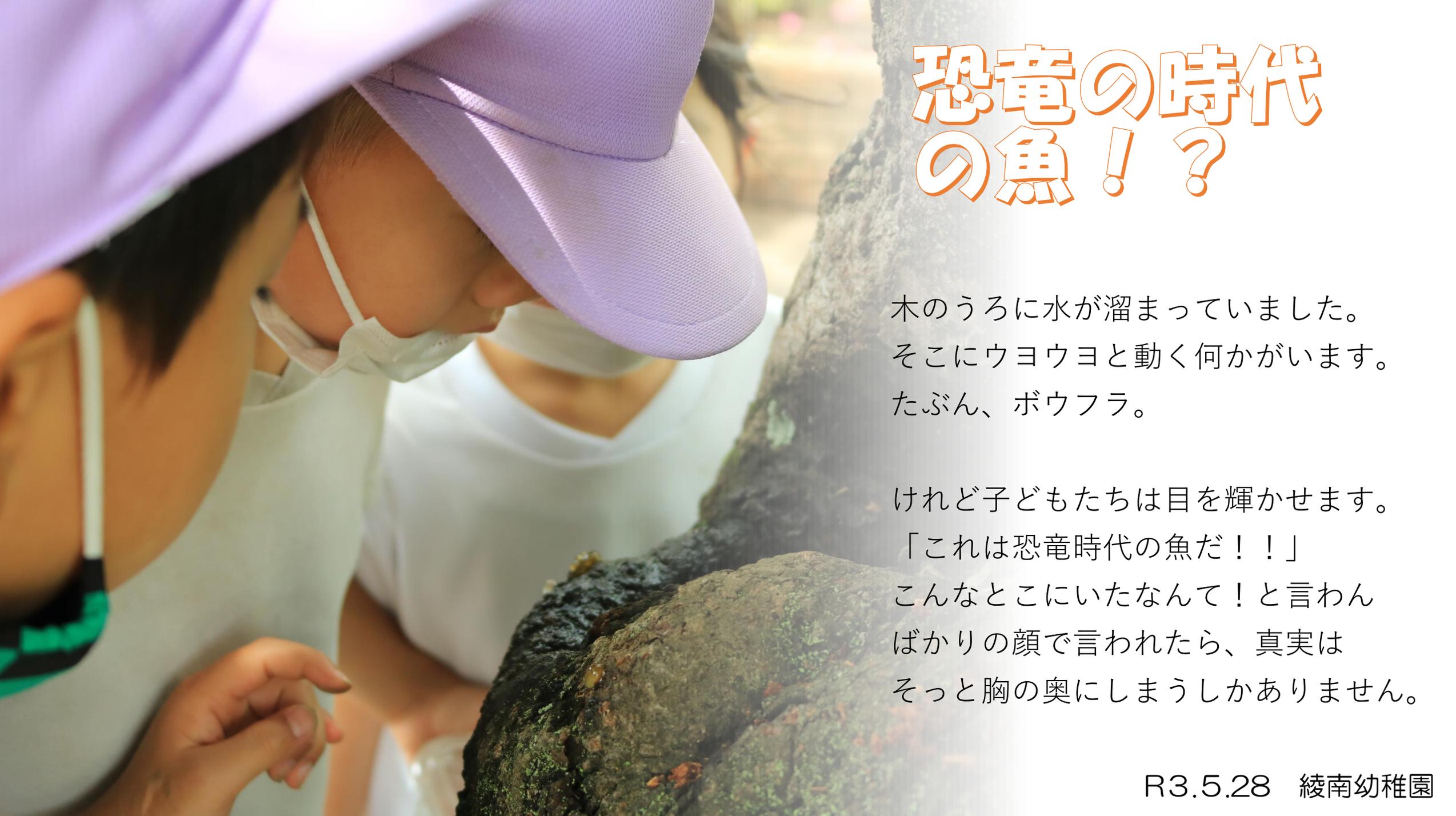
ご近所付き合い

園外保育中に、犬を散歩させている男性がいました。

「わあ、かわいい」と寄っていく子どもたち。

「おやつ、あげてみる？」と優しく対応していただきました。

子どもたちには地域の大人に見守られながら育ってほしいと思います。



恐竜の時代 の魚！？

木のうろに水が溜まっていた。
そこにウヨウヨと動く何かがいます。
たぶん、ボウフラ。

けれど子どもたちは目を輝かせます。
「これは恐竜時代の魚だ！！」
こんなとこにいたなんて！と言わん
ばかりの顔で言われたら、真実は
そっと胸の奥にしまうしかありません。